

浅野公園 開園100周年記念式典・記念公演のご案内

平成29年4月に皆様に愛される浅野公園は開園100周年を迎えます。

100周年を記念し、浅野史蹟顕彰会では、下記において記念式典及び記念公演を開催いたします。皆様お誘いあわせのうえ、是非足をお運びください。

日時：平成29年6月25日(日) 開場：午後1時 開演：午後1時50分～3時40分

会場：一宮市民会館2階ホール 一宮市朝日二丁目5番1号 TEL (0586) 71-2021

※入場には特別整理券(無料)が必要です。整理券は一宮市観光案内所(i-ビル1階)及び、一宮市観光協会(一宮市役所9階経済振興課)にて配布いたします。

記念公演『浅野長政 歴史物語』

一宮浅野家の家督を継ぎ、信長・秀吉・家康の三英傑に仕えて壮絶な戦国時代を生き抜いた武将・浅野長政の生涯を描く『浅野長政記』

歴史ある和太鼓や笛の音、厳かな雅楽の音に載せて、雅やかな美しい舞や、激しい剣術の立回りを繰り広げ、浅野公園100周年を記念するにふさわしい歴史物語舞台の世界へ

『浅野長政記』筋書き(犬山城主成瀬家子孫の成瀬朝香率いる役者陣による)

《学問剣術に励む幼少期》

時は戦国、織田信長の弓衆であった叔父・浅野長勝に養子として一宮の地に迎えられた長政は、幼少期から聡明であった。また、武術を磨くべく腹心と共に日々の剣術の稽古にも励んでいた。そんな姿を頼もしく見守る義姉である寧々の姿も…

《祝勝の宴》

天正元年、浅井長政攻めで勝利を挙げた若き長政は腹心らと祝杯をあげ、寧々も勝利を讃えて雅やかに舞い、浅野城下では太鼓の音も賑やかに祭が行われる。

《武将としての躍進と陰謀》

時は流れ大胆かつ頭脳明晰な長政は、豊臣政権下で五奉行の筆頭となり、その卓越した行政手腕を買われて秀吉に命ぜられ太閤検地を実施する。

そんな中、石田三成の陰謀からか、家康から暗殺の嫌疑をかけられ怪しい忍びの者の陰が…武術に優れた長政は正々堂々と立ち向かい、激しい立回りの末に難を逃れる。

《祈りの舞》

謹慎の身となった長政を慈しみ、また浅野家と人々の幸運を祈り厳かに想いを込めて舞姫が神楽舞を奉納する。

その願いが通じ、家督を継ぐ長男の幸長は関ヶ原の戦いでは家康を支持して活躍し、浅野家は全国へ代々繁栄し、後の名古屋城へ嫁ぐ春姫や犬山城主成瀬家に縁の歴史へと繋がってゆく…



舞姫による雅やかな神楽舞



歌舞伎の舞台にも立つ役者陣が激しい立回りを繰り広げる!